



LED照明などの普及促進を目指す省エネ・創エネ推進パートナーシップ協定締結式 掛川市役所

掛川市と電気工業協同組合 省エネ設備推進へ協定

掛川市と掛川電気工業協同組合は18日、市役所でLED照明と太陽光発電設備の普及促進を目指す「省エネ・創エネ推進パートナーシップ協定」を結んだ。市が目指す「環境日本一のまちづくり」事業の一環。松井三郎市長と同組合の松田良克理事長が協定書を取り交わした。

同組合は中東遠地区の電気工事店など143事業所づくり、今回の協定を結んだのは同市内の46店舗。地元密着の利点を生かし、各家庭や自治会、事業所などにLED照明と太陽光発電施設を設置を呼び掛けている。

松田理事長は「相談さ

ければアドバイスできるように勉強会も開いて組合員たちに周知したい」とあいさつ。松井市長は「市民と行政が一体となって温暖化防止を進めていきたい」と意気込みを語った。



掛川市 LEDの普及などで 電気工業協組と協定

省エネパートナーシップ

地球温暖化防止に向けて掛川市と掛川電気工業協同組合が連携することになり、十八日、市役所で省エネ・創エネ推進パートナーシップ協定の締結式が開かれた。

協定を結んだ（右から）松田理事長、松井市長、掛川市役所で

協同組合は今後、二酸化炭素(CO₂)排出が少ない発光ダイオード(LED)の照明器具と太陽光発電施設の普及に取り組み。防犯灯や各家庭の照明器具交換時などにLEDへの切り替えを働き掛ける。

松井市長からは「惜しみない協力を約束する」、松井市長は「お知恵とアドバイスをいただきたい」と、それぞれあいさつした。

(河野貴子)